

【認知症初期集中支援チーム】 認知症の対応に困っている… 認知症なのかも分からない…

1. 認知症初期集中支援チームとは

保健師・看護師・社会福祉士・介護福祉士等、国家資格を保有した者と、認知症に関する専門研修を受講した認知症サポート医がチームを組んで、認知症の人やその疑いのある人の支援策を検討するものです。

2. 支援の対象となる人は？

原則として40歳以上で在宅生活をされている人で、認知症の診断を受けているか認知症の疑いがある人で、以下の基準に該当する人が対象となります。（地域支援事業実施要綱に準ずる。）

1. 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
2. 継続的な医療サービス、または適切な介護サービスを受けていない人
3. 医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著で対応に苦慮している人

3. 支援を依頼するにはどうしたら良いの？

認知症の人やその疑いのある人のご家族、近隣住民の方など、どなたでもご相談できます。
ただし、上記の条件やその他諸事情を考慮して、実際にチームが稼働するか決定いたします。
お電話でご相談いただく際には、可能な限り対象となる人の情報をお伝えいただくようお願いします。

お問合せ先 お住まい圏域担当の「地域包括支援センター」（10ページ）まで

【伊東市高齢者あんしん見守りネットワーク】 行方不明にならないか心配…

認知症等で行方がわからなくなる可能性がある人を、事前登録し同意を得た上で、伊東警察署と情報共有を行い、QRコードシールを対象となる人の衣類や持ち物に貼付することで、見守りを行うとともに、行方不明になった場合の早期発見や保護につなげることができます。

※登録には申請書と同意書を提出していただく必要があります。

お問合せ先 「伊東市高齢者福祉課」 32-1561

または、お住まい圏域担当の「地域包括支援センター」（10ページ）まで

見守りシール

